

メッセージアウトライン

創世記 1:1 「初めに神が」

誰が創世記を書いたのか。

多くの保守的な聖書学者はモーセ著者説を支持する。

聖書の最初に出て来る五つの書「創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記」はモーセ五書、モーセの律法（トーラー）と呼ばれている。主イエス・キリストもこのことを認めておられる。→ルカ 24:27,44 モーセはエジプト人のあらゆる学問を教え込まれ、ことばにもわざにも力があつた。→使徒 7:22 彼は文書を書き、編集する能力があつたであろう。

では天地創造の時には存在しなかつたモーセがどのようにしてこの創世記の記事を書くことができたのか。

- ① 神からの直接啓示によりモーセがそれを書き取つた。
- ② アダム以来、何世紀の間、親から子へと伝えられてきた言い伝え（口伝）を受けたモーセがそれらを集めて聖霊の導きによって書き記した。
- ③ 口伝ではなく実際に書かれた過去の多くの記録をモーセが集め、聖霊の導きで最終的な形にまとめた。

これらのどれも言語靈感（原典において聖霊によって靈感されており書かれていることについて誤りが無い）とモーセ著者説を支持しているが、創世記は完全に歴史上の出来事の物語的記録の形をとっているため、それらの実際の記録文書をモーセが集め編集した③が有力である。

[1] 「初めに神が、天と地を創造した」

神の創造の事実についての宣言であり、具体的な説明が2節以下に続く。

創世記1章1節は聖書の基礎である。もしこの1章1節を心から信じられるなら、その人は聖書の他のところに書かれているどんなことも困難なく信じることができる。神が本当にすべてのものを創造されたのなら、神はすべてのものを支配し、すべてのことを成し得るからである。さらにこの1節は世界の起源と意義に関する人間の誤った考えすべてを明らかにする。

- ① 無神論の誤りを証明する。→神が天地万物を創造されたのだから。
- ② 汎神論の誤りを証明する。→神はご自身がお造りになった宇宙を超越しておられるから。
- ③ 多神論の誤りを証明する。→唯一の神がすべてのものを創造されたのだから。
- ④ 唯物論の誤りを証明する。→物質には始まりがあつたから。
- ⑤ 二元論の誤りを証明する。→神が創造された時に存在していたのは神のみであつたから。
- ⑥ ヒューマニズム（人間中心主義）の誤りを証明する。→神が究極的存在であつて、人ではないのだから。
- ⑦ 進化論の誤りを証明する。→神がすべてのものを創造されたのだから。

実際これらすべての考えは、同じ不信仰を表明する異なつた方法にすぎない。

「初めに」…これは単なる時間的な初めを意味するだけでなく、聖書の語る

歴史の出発点であり、これなしにはどのような問題もその本質にさかのぼることはできない。しかもそのすべての初めを人は知ることができないので知らされる必要があった。現在の世界の状況の説明は、この世界がどのようにして始まったのかを知ることなしには正しく理解できないからである。

「神 (エロヒーム)」…このことばは複数形が用いられている (単数形はエール) が、これは神の主権と全能を強調したことばであり聖書には2000箇所以上あり、これはその最初である。

「天 (シャーマイム)」…地の上の空間や宇宙空間を意味する。しかし、そこにはまだ星はない。

天の星々は創造の第4日目に造られた。→創世記 1:16

「地 (エレッツ)」…物質の基本的構成要素を意味し、これらがその後、構造を持った地球や他の諸物体へと組織されたと考えられる。

「創造した (バーラー)」…このことばは神のわざにしか用いられないことばである。人はものを「作っ」たり、「組み立て」たりできるが、ものを「創造」することはできない。創造のわざは、神だけのわざである。これはある重要なものをみことばをもって存在させるわざである。

→ローマ 4:17、ヘブル 11:3

それゆえ、創世記1章1節に用いられている「創造した」ということばは、この時点で物理的存在である宇宙が神によって存在するようになったことを教えている。

「初めに神が天と地を創造した」。これは神話や作り話ではなく、人間の歴史、世界の歴史、宇宙の歴史とその始まりが天地万物の創造者なるまことの神によるものであることを教えている。

この世界は無秩序で何の意味もないものではなく、神がご自身の計画に従ってすべてを創造されたのであり、すべてのものがこの神にあってその存在意義を見出すことができることを知るのである。